

第1章 リスクマネー供給の政策とその現状について

第2章 株主コミュニティの活用について

第3章 私募とクラウドファンディングの問題

第4章 証券会社のリスクマネー仲介機能についての可能性

地方企業等へのリスクマネー供給の仕組み

(2019年12月末時点)

【株主コミュニティ】

資金調達案件は実績無し

運営証券会社 5社

コミュニティ組成銘柄数19社

(※北陸地方などの地元有力企業や元クリーンシート銘柄が多い。売買金額が多いのは、北陸電鉄、YKK、富山地方鉄道など)

※数値は日本証券業協会資料より

(●色は、第二種金融商品取引業協会資料より)

【株式投資型クラウドファンディング】

92案件

調達額29億円

(※2019年までの累積)

業者数 5社

(※既存証券会社の関与なし)

【ファンド投資型クラウドファンディング】

440案件

調達額55億円

(※2019年までの累積)

業者数11社

(※既存証券会社の関与なし)

【プロ私募】

適格機関投資家私募及び適格機関投資家特例業務(プロ向けファンド)があるが、地方企業に対するリスクマネー供給で証券会社が主導するケースは多くはない

【ソーシャルレンディング】

4,251案件、運用額1,726億円、業者数 21社(※2019年9月末)

【不動産流動化スキーム】

私募リートや私募ファンド、不動産クラウドファンディング等

